

生協ヘルパーステーション

「住み慣れたご自宅、地域で安心していつまでも自分らしく過ごして頂く」ためのお手伝いをします。長い年月、生きてこられた中での、お一人お一人の生活スタイルやこだわりに合わせて、10名のヘルパーが心のこもった支援を心がけ、利用者様の笑顔を増やしていけるよう日々活動しています。

《スタッフ紹介》



ステーションの中は利用者さんの様子の報告等で毎日がプチカンファレンス状態、とても賑やかです。ヘルパーは体調などの身体や精神的なこと、日常生活までを支援しますので、「食事が残っていたから様子を見て」「拒否が強いけどどうしたらいい?」「調味料が切れてたから次に買って置いて」などなどあらゆる報告が入ります。よりよいケアを行うためにはチームワークが重要。メンバーが抱え込まないように話を聞き、楽しく仕事ができる自身の生活も大切にできるような職場作りを実践しています。

《ヘルパーってどんなことするの?》

「身体介護」

入浴や排せつ、服薬の介助や外出の支援などお体に関するお手伝いです。入浴介助のあと、「気持ちよかったわ~次はいつ?」と楽しみにして下さっている表情をみると、ヘルパーも嬉しくなります。

*認知症ケア

なじみの関係を作り安全に、安心してその方らしく在宅生活が継続できるよう支援します。小さな変化を見逃さず、残っている力を奪わず続けて頂けるように見守ります。独居の方やご夫婦お二人が認知症で、GPSや見守りカメラを設置され、早期発見につながった例もあります。ご家族ともショートメールで日々の変化やお困りごとを相談し合うなど、きめ細かなケアを行っています。

「生活援助」

掃除や洗濯、買い物や調理、ゴミ出しなど、できにくくなった家事のお手伝いをします。「買い物はやっぱり自分の目で見て選びたいわ」という方には、外出の支援もします。ヘルパーの報告書ファイルを抱きしめて「これが命なのよ~」と笑わせて下さる方もおられ、改めてヘルパーの必要性を感じています。

*移動支援

障がいの方の外出に付き添いをします。買い物へ行きたい、神社にお参りに行きたい、ケンタッキーに行きたいe t c、同行支援をすることで娘さんや、お孫さんの結婚式へ出席できた方もあります。社会参加が少なくなりがちな障がいの方の生活の質の維持、向上につながる支援です。